

へいせい ねんど
平成29年度

がっこうひょうか し
学校評価のお知らせ



えんぶ
『 演舞！ たてとくばやし 』

むらやま^{とくばやし} 平成29年8月20日（日）^{えんぶ} 葉^まプラザ前特設ステージ



にい いっしょ ねんりょうでんちしゃ の
『 お兄さんと一緒に燃料電池車に乗ったよ！ 』

しょうがくぶ むらやまさんぎょうこうこう こうりゅうかつどう
小学部 村山産業高校との交流活動

へいせい ねん がつ にち ちく むらやまさんぎょうこうこう
平成29年11月30日（木） 村山産業高校



まち
『 町をきれいに ゴミバスターズ 』

ちゅうがくぶ せいそう
中学部 清掃ボランティア

へいせい ねん がつ にち すい がっこうしゅうへん どうろ
平成29年10月18日（水） 学校周辺の道路



『 いらっしゃいませ～ 』

こうとうぶ はんばいかい へいせい ねん がつ にち か ～ がつ にち ちく ひがしねてん
高等部 販売会 平成30年1月30日（火）～2月1日（木） イオン東根店

やまがたけんりつたておかとくべつしえんがっこう
山形県立楯岡特別支援学校

平成29年度 学校評価アンケートの結果と改善策

山形県立楯岡特別支援学校

1 平成29年度学校評価アンケートの実施について

(1) 学校関係者評価（保護者アンケート）の実施

保護者アンケートは、記入していただいたアンケート用紙に封をしてご提出いただき、学校評価委員（3名）が直接開封して集計を行った。

(2) アンケート項目については、経年における変動が読み取れるように、これまでと同様の内容を継続して実施した。

(3) アンケート結果をもとに、校長を含めた学校評価委員会で、30年度に向けての考察と改善策を提案し学校運営に生かせるようにした。

(4) 学校自己評価（教職員アンケート）も同様の方法で実施した。

(5) 結果は保護者にお知らせするとともに、学校評議員会でも報告し、助言を受けるようにした。

2 学校関係者評価（保護者アンケート） <別紙集計結果参照>

(1) 分析

① アンケートに際しては、保護者への依頼文書に加え、締切前に担任が呼びかけるなどを行い、100家庭中96家庭（96％）の回答率であった。

② 4（よく当てはまる）と3（やや当てはまる）の段階を合わせた割合が、10項目中8項目が90％以上を占めており、全体的に良好である。

③ どの項目も平均値で昨年度比 ± 0.15 未満の変化で、概ね横ばいの状況にある。

④ 設問の中で[3]・[5]の項目に伸びが見られる。[3]「学校や学級担任は、お子さんの学校での様子をよく伝えている。」は、学校・学部・学級の通信、連絡帳、電話等の連絡や日々の対応により、各家庭との連携を大切にした結果と考えられる。[5]「お子さんにとって、適切な学習目標や内容の「わかる」授業が工夫されている。」は、校内研究で児童・生徒それぞれがもつ力を発揮できる“学び合い”の工夫に取り組み、授業改善や指導と評価の見直しを積み重ねたことで、子どもの成長が保護者に実感できたものと思われる。

⑤ 数値の低下が見られた項目で、[6]「進路関係」は、生徒数増加に伴うニーズの広がりへの実習・進路先の開拓や対応について、[8]「安全・健康・給食」[9]「学校行事」は、障がいの重度・重複化が進む状況で、更なる個別対応や支援の工夫について保護者が求めていると考えられる。[10]「地域への発信」は、毎年、10項目の中で一番低い状況が続いており、継続した課題である。[4]「参観の機会」も含め、より開かれた学校としていく必要がある。

(2) 改善策

① [6]について 就職支援コーディネーターや進路指導主事を中心として、企業開拓を一層推進するとともに、保護者への情報提供の機会を増やしていく。

② [8]・[9]について 施設設備や職員の専門性を十分に生かしながら、細やかな配慮や支援の工夫を行い、関係機関とも連携して改善を重ねていく。

③ 記述によりいただいたご意見の中で、教育活動に関わる内容については教員全体で確認し、改善できるものは迅速に改善を図っていく。学校経営計画に反映し、今後とも[4]PTA全体や[10]「地域」へも、積極的に学校を公開したり取り組みの状況を発信したりしていく。

3 学校自己評価（教職員アンケート） ＜別紙集計結果参照＞

（１）分析

- ① 平均値が 3.0 を下回った項目（28・29 年度の両方または一方）は下表のとおりであった。
（△印 昨年度より数値が上がったもの）

番号	設 問 内 容	29 年度 平均値	28 年度 平均値
3	児童生徒が十分に活動し、達成感の持てる授業が実践できている。（個）	2.94	3.00
6	個別の教育支援計画及び個別の指導計画について見直しを行い指導に活用している。（個）	2.96	2.98
7	小・中・高で児童生徒理解を共有し、一貫した指導ができている。（全）	△ 2.67	2.60
10	児童生徒の実態に応じたキャリア教育や進路先の決定ができている。（個）	2.79	2.81
11	卒業後の進路に関連する情報を収集し、保護者への提供に努めている。（個）	△ 2.74	2.70
20	学校や本校児童生徒の理解のための地域社会への情報発信がなされている。（全）	△ 2.92	2.91
22	村山産業高校、医療、福祉、労働等の関係機関と連携が適切に行われている。（全）	△ 3.08	2.93
24	学校運営に教職員の意見が反映されている。（全）	2.65	3.02
25	校務の分担が適正に行われ、協働体制ができている。（全）	2.79	2.81
26	校務組織が機能的に整備されている。（全）	2.91	3.02
27	職員会議及び諸会議の設定が適切であり、機能している。（全）	2.91	3.07
30	多忙感や負担感の解消に向けた取り組みがなされている。（全）	2.51	2.59

（２）改善策

- ① **3・6・7** について： **3・7**の児童生徒理解の共有や一貫した指導について伸びが見られる。**6**個別の教育支援計画及び個別の指導計画を十分に活用しながら、日々の指導の一層の充実や授業改善を推進していく。
- ② **10・11** について： **11**の情報収集・提供は伸びているが、特に高等部の生徒数増加による実習・進路先へのニーズの拡大に迫っていない。進路指導主事や就職支援コーディネーターを中心としながらも、全学部で進路指導の充実や事業所等の開拓に取り組んでいく。
- ③ **20・22** について： 徳内まつりへの参加や村山産業高校との協力をはじめ、医療、福祉、関係機関との具体的な連携が進み評価が向上している。活動状況を積極的に情報発信するとともに、学校から地域へと活動場所や取り組みを更に広げていく。
- ④ **24・25** について： 校務の分担にあたっては、経験や専門性などを考慮し職員の希望も加味しながら命課している。校務によって業務内容・業務量に差があるのも事実であり、今後も適材適所・組織機能の維持向上という観点から、各職員の意見も反映させられるような、業務内容の見直しや職員の配置に最大限配慮していく。
- ⑤ **26・27** について： 業務内容・業務量に応じた校務組織や人員配置の見直しも含め、機能的に学校運営が進められるようにする。諸会議は企画委員会を廃止するなど会議数の削減を行い、職員会議も時間内に終わられるようにしてきた。提案者一人一人が分かりやすい資料作りを意識し、担当者間で連携しながらチームで取り組むようにする。
- ⑥ **30** について： ゆとり創造に向けた学校全体の取り組みとして、教育課程や事務様式等の見直しにより作業量を軽減したり、教室の配置や時間割の工夫等により学部毎の自由度を増したりして、実質的なゆとりを生み出す。個々の取り組みとして、見通しを持った主体的な取り組みや働き方を見直しを推進するとともに、相互に助け合える同僚性を高めていく。

平成29年度 学校評価保護者アンケート集計結果

番号	設 問	0%20%40%60%80%100%	%				29年度 平均	28年度 平均
			4段階	3段階	2段階	1段階		
1	お子さんは、学校に行くことを楽しく思っている。		62%	28%	8%	1%	3.52	3.67
2	学校や学級担任はお子さんの教育について、よく話を聞ってくれる。		59%	36%	3%	1%	3.54	3.63
3	学校や学級担任は、お子さんの学校での様子をよく伝えてくれる。		63%	34%	2%	1%	3.58	3.57
4	学習の足跡の掲示や参観の機会などが確保され、児童生徒の学習の様子が見える。		47%	46%	7%	0%	3.40	3.50
5	お子さんにとって、適切な学習目標や内容の「わかる」授業が工夫されている。		47%	44%	7%	1%	3.38	3.37
6	学校は、お子さんや保護者の願いに耳を傾け、進路希望の実現や進路情報の提供に努めている。		41%	52%	7%	0%	3.33	3.42
7	清掃や施設設備の整備がなされ、明るく機能的な学校環境になっている。		58%	38%	4%	0%	3.54	3.68
8	学校生活の安全が確保され、適切な健康管理・給食指導がなされている。		52%	43%	5%	0%	3.47	3.63
9	お子さんにとって意義のある学校行事の企画・運営がなされている。		44%	44%	11%	1%	3.32	3.45
10	本校の教育活動や児童生徒の活躍等について、地域に発信が出来ている。		31%	44%	24%	1%	3.05	3.14
							3.41	3.50

※1 アンケートの実施期間は、平成29年11月10日(金)から11月17日(金)まででした。

※2 10の質問項目に対し、4段階で評価していただきました。

(4:よく当てはまる 3:やや当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:当てはまらない)

※3 アンケートの回収件数は、96件(100家庭中)でした。

平成29年度 学校関係者評価(保護者アンケート「その他」の自由記述)から

山形県立楯岡特別支援学校

【小学部】

- 1 運動会は毎年実施していただきたいです。子ども達の成長につながる大切な行事だと思います。全校運動会でなくとも、学部ごと実施でも良いと思います。
- 2 言語聴覚士、作業療法士など専門の方々を設置や連携してほしい。
遊びの指導の日、体育という教科を使って頂き、遊びだけでなく、体育という教科を取り入れて体を動かす時間を作ってほしい。
- 3 運動会の2年に1度について説明等疑問が残る。何のためにグラウンドがあるのか。
- 4 たてとく祭は毎年してほしい。
- 5 小学部の入口から教室までの通路がすごく寒い。
- 6 毎年思うのですが「地域に情報発信」の方法はどんなものでしょうか。
- 7 くつばこがとおい。
- 8 運動会、以前のような活気ある行事にしてほしい。たった半日でも小～高の全生徒の頑張っている姿を見れば楽しかったので…。

P T Aの専門部の集まり、学部の集まり、すべてが日中の昼過ぎなどで働いていると、参加がむずかしい。普通校は夜とかなのに…子供が学校、学童に行っている間という考えからだと思えますが…

校外学習は子供達の体調、感染症等を考えてその心配があまりない月にしてほしい。家で気をつけていても学校で連れていかれては意味がない…

定期的に進路学習会がありますが、毎回感じることは自分の子がいざ高校卒業でとなった時に就労先があるのかということです。こういうことを身につけさせておくといい、出来る様にしておくといいという話を聞くけど、受け皿がなかったら出来ても仕方ないと思ってしまいます。新しい所、開所してもすぐ、いっぱいになってしまう状況です。自分の子が就労の時に困らないようにするには、どうすればいいのか、何をすればいいのか教えてほしい。

【中学部】

- 1 たてとく祭が、毎年でなく一年ごとになるかもと聞いたのですが、なぜですか？
- 2 せっかくの室内プール。もう少しプールの回数が増えるとうれしい。
- 3 各学年、フリーの先生がいるとよい。

【高等部】

- 1 1年間通して、子どもが混乱しない職員体制をとってほしい。担任の先生と子どもの相性は、とても大切だと思う。子どもの障害や特性を理解し、適切な支援をお願いしたい。
- 2 実習先が限られていると思う。いろいろな所を見学したり、話を聞いたりもするのですが…。また「あそこはどうか？」と思っても、「卒業生でほぼ定員だから行かない方がよい。行ってもムダ。」的な返答もある状況なので、就労先は学校だけに頼っては無理なこと…！？と思うこともある。実際、卒業後は就労にムリに当てはめなくても良いかもとさえ思える。(経験や見聞を重ねて見つけていってもムダでないのでは…)
- 3 障害者枠の一般就労企業の情報がもう少しほしいというのと、見学が出来れば良かったなと思います。
- 4 朝、車で送って行っています。その時、車や人でとても行きにくいです。もっとスムーズにできないのでしょうか？冬だけでもハリス食堂のところに交通整理の人をおいてほしいです。

平成29年度 学校評価アンケート集計結果（教職員アンケート）

項 目	番号	内 容	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	4%	3%	2%	1%	H29	H28			
1 教育内容の充実	1	学校の教育目標や方針を意識し、具体的な取り組みにつなげている。(個)												15.5	74.1	10.3	0.0	3.06	3.04			
	2	児童生徒の実態に応じた目標や学習内容になっている。(個)												15.5	81.0	3.4	0.0	3.15	3.26			
	3	児童生徒が十分に活動し、達成感の持てる授業が実践できている。(個)												5.2	82.8	12.1	0.0	2.94	3.00			
2 教育計画及び指導方法	4	児童生徒の実態や障がい特性を踏まえ、指導方法を工夫している。(個)												35.1	63.2	1.8	0.0	3.35	3.31			
	5	TTの授業では、役割分担を明確にして実施している。(個)												20.7	65.5	13.8	0.0	3.11	3.13			
	6	個別的教育支援計画及び個別の指導計画について見直しを行い指導に活用している。(個)												8.6	77.6	12.1	1.7	2.96	2.98			
3 小・中・高・舎の一貫教育	7	小・中・高の児童生徒理解や教育課程で一貫性のある指導ができている。(全)												5.1	62.7	30.5	1.7	2.67	2.60			
4 保護者との連携	8	保護者の悩みや相談事に丁寧に耳を傾け、学習や生活上の課題を共有できている。(個)												24.1	67.2	8.6	0.0	3.17	3.42			
	9	保護者の意向を個別的教育支援計画や個別の指導計画に生かし、授業等に反映させている。(個)												12.1	81.0	5.2	1.7	3.06	3.22			
5 進路指導	10	児童生徒の実態に応じたキャリア教育や進路先の決定ができている。(個)												10.3	56.9	31.0	1.7	2.79	2.81			
	11	卒業後の進路に関連する情報を収集し、保護者への提供に努めている。(個)												8.6	58.6	27.6	5.2	2.74	2.70			
6 保健安全指導と危機管理	12	健康と安全についての指導を計画的に行っている。(個)												12.1	75.9	12.1	0.0	3.00	3.05			
	13	児童生徒の障がいや疾病等について、養護教諭または関係医療機関と連携して対応している。(個)												25.9	63.8	10.3	0.0	3.15	3.89			
	14	日常の食育指導を適切に行っている。(個)												25.4	67.8	5.1	1.7	3.20	3.15			
	15	教室及び学習環境等の整理整頓を意識して行っている。(個)												18.6	71.2	10.2	0.0	3.09	3.24			
	16	危機管理及び災害避難訓練が適切に行われている。(全)												33.9	62.7	3.4	0.0	3.31	3.25			
7 生徒指導	17	児童生徒の生徒指導上の課題を把握し、指導の手立てを講じている。(個)												31.6	63.2	5.3	0.0	3.29	3.19			
8 専門性の向上	18	学校研究及び自己研修に課題意識を持ち取り組んでいる。(個)												24.6	63.2	10.5	1.8	3.17	3.15			
	19	地域に対し、特別支援教育のセンター的機能を果たしている。(全)												19.3	73.7	5.3	1.8	3.12	3.26			
9 開かれた学校づくり 交流教育 関係機関連携	20	学校や本校児童生徒の理解のための地域社会への情報発信がなされている。(全)												5.2	82.8	12.1	0.0	2.92	2.91			
	21	交流及び共同学習が適切に実施されている。(全)												19.3	64.9	15.8	0.0	3.02	3.04			
	22	村山産業高校、医療、福祉、労働等の関係機関と連携が適切に行われている。(全)												15.5	77.6	6.9	0.0	3.08	2.93			
11 学校運営	23	学校運営に校長のリーダーシップが発揮されている。(全)												41.4	48.3	10.3	0.0	3.28	3.51			
	24	学校運営に教職員の意見が反映されている。(全)												8.8	54.4	36.8	0.0	2.65	3.02			
	25	校務の分担が適切に行われ、協働体制ができている。(全)												6.9	69.0	24.1	0.0	2.79	2.81			
12 組織 諸会議	26	校務組織が機能的に整備されている。(全)												6.9	81.0	10.3	1.7	2.91	3.02			
	27	職員会議及び諸会議の設定が適切であり、機能している。(全)												8.6	74.1	17.2	0.0	2.91	3.07			
13 サービスの意識	28	日々の教育課題や悩みなどを気軽に相談し合える職場の人間関係ができている。(全)												20.7	65.5	13.8	0.0	3.08	3.21			
	29	服務規律を尊重し、事故や不祥事の未然防止について、自分のこととして受け止め努力している。(個)												48.3	51.7	0.0	0.0	3.45	3.47			
	30	多忙感や負担感の解消に向けた取り組みがなされている。(全)												10.3	39.7	44.8	5.2	2.51	2.59			
																			■ 4:よく当てはまる ■ 3:やや当てはまる ■ 2:あまり当てはまらない ■ 1:当てはまらない		3.03	3.11